

まちの整備と発展へ 61億円

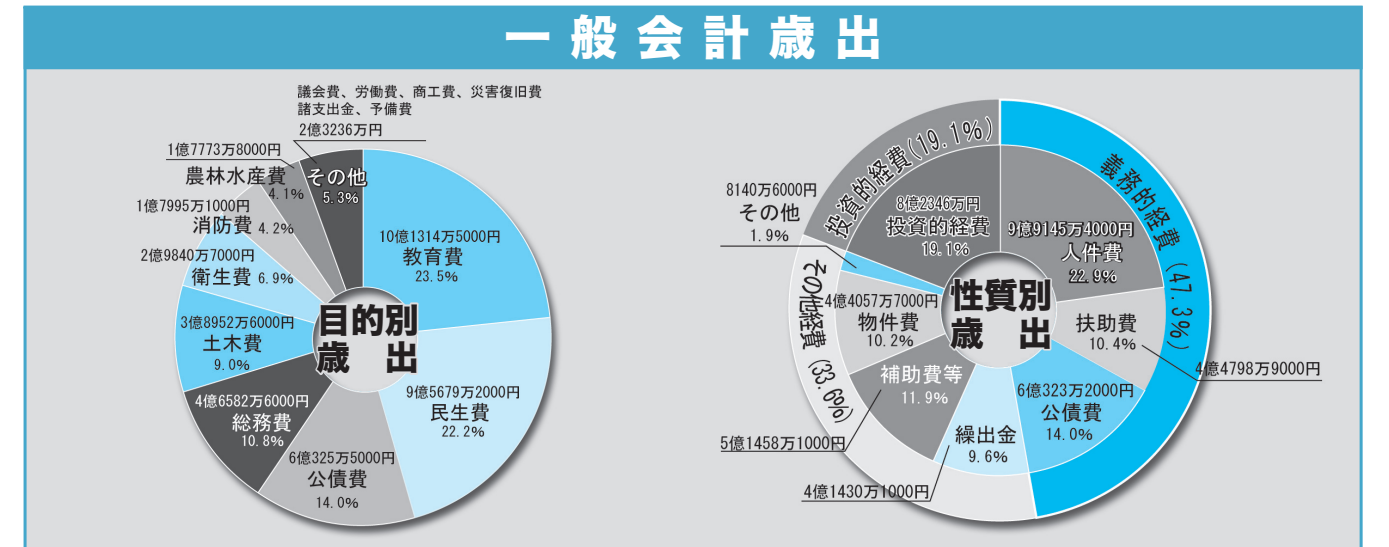
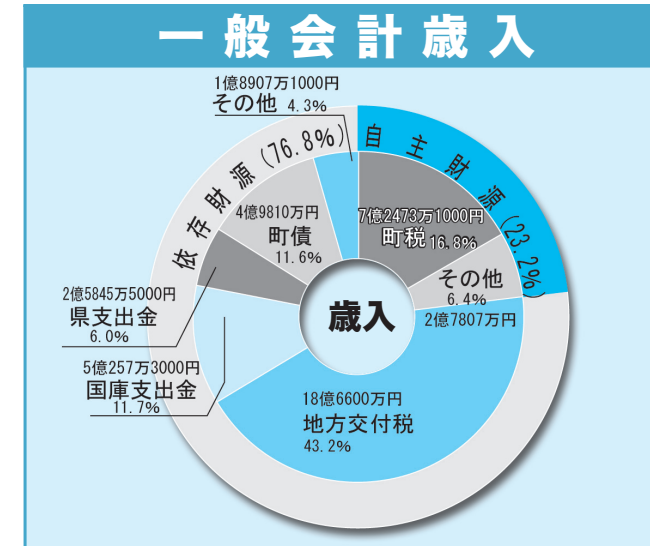
平成23年度の当初予算が3月8日から28日までの会期で開かれた3月定例議会で原案通り可決され、一般会計と特別会計との総予算額は60億9500万円となりました。

一般会計は43億1700万円で、前年度(22年度)と比較して5億1700万円(13.6%)の増となりました。

歳入

歳入を見ると、自主財源では町税や使用料などの減収を補うため、基金からの繰入金が増額となり、全体で10億280万1000円と、前年度当初比9300万4000円の増額となりました。

一方、依存財源では、平泉中学校改築事業に係る国庫支出金と町債の大幅な増額や、地方交付税の増額により、全体で33億1419万9000円と、前年度当初比4億2399万6000円の増額となりました。



歳出

歳出を目的別に見ると、教育費が10億1314万5000円と最も大きな割合を占めています。次いで民生費が9億5679万2000円、公債費が6億325万5000円、総務費4億6582万6000円、土木費3億8952万6000円、以下衛生費、消防費、農林水産業費と続きます。

性質別に見ると、投資的経費は平泉中学校改築事業、

道路改良事業などの普通建設事業が8億2115万円と、前年度当初比3億5869万1000円の増額となりました。

義務的経費の公債費6億323万2000円は、前年度当初比984万8000円の減額となり着実に減少しています。

人件費は職員数の減により2172万9000円の減額、扶助費は子ども手当の拡充などにより1億3404万7000円の増額となり、全体で20億4267万5000円と、前年度当初比で1億247万円の増額となりました。

主な事業と予算額 (新)は新規事業)

投資事業

平泉中学校校舎改築事業	52,074万円
町道整備事業	
(中学校線、佐野線、桐畑線、中学校校門線、倉町線、戸内線)	11,772万円
柳之御所遺跡公有化事業	3,991万円
特別史跡無量光院跡保存修理事業	3,175万円
介護サービス施設等施設整備臨時特例事業	2,625万円
平泉遺跡群発掘調査事業	2,020万円
浄化槽設置整備事業補助金	678万円
公営住宅等ストック総合改善事業	663万円

主要事業

緊急雇用創出事業	3,560万円
すこやか出産・子育てプロジェクト事業	1,770万円
子宮頸がん等予防接種事業	1,431万円
森林病虫害防除事業	1,164万円
地域活力推進事業	1,000万円
町単独医療費助成事業	967万円
世界遺産登録推進事業	545万円
世界遺産登録記念イベント事業	350万円
環境基本計画策定事業	300万円
観光教育旅行用動画作成事業	252万円

一部事務組合等負担金

一関地区広域行政組合負担金(環境衛生部門)	12,978万円
"(介護保険部門)	10,392万円
消防事務委託負担金	14,066万円
岩手県後期高齢者医療広域連合分担金	8,680万円
市町村総合事務組合負担金	577万円

地方債現在高(見込み) (単位:万円)

会計別	平成23年度	平成22年度	比較
一般会計	542,388	543,755	1,367
下水道事業特別会計	242,938	248,471	5,533
農業集落排水事業特別会計	68,541	70,303	1,762
簡易水道事業特別会計	59,473	61,950	2,477
水道事業会計	105,409	108,725	3,316
合計	1,018,749	1,033,204	14,455

各会計別総括表 (単位:万円)

会計別	平成23年度	平成22年度	比較	
一般会計	431,700	380,000	51,700	
国民健康保険特別会計事業勘定	81,000	80,000	1,000	
後期高齢者医療特別会計	6,680	5,930	750	
健康福祉交流館特別会計	6,010	5,870	140	
町営駐車場特別会計	8,380	4,500	3,880	
下水道事業特別会計	34,170	33,530	640	
農業集落排水事業特別会計	5,470	5,450	20	
簡易水道事業特別会計	12,830	12,580	250	
水道事業	3条予算	14,480	14,640	160
会計	4条予算	8,780	8,060	720
老人保健特別会計	0	10	10	
国民健康保険特別会計診療施設	0	3,700	3,700	
合計	609,500	554,270	55,230	

町債残高見込み

町債については、社会基盤や公共施設の整備などの財源として活用してきましたが、23年度末残高見込みは全会計合わせて101億8749万円で、町民1人当たりになると約120万円となります。

町債の活用には、将来の住民に過大な負担を残さないよう、財政運営の健全化に努めてまいります。

一般会計の町民1人当たりの予算額は**508,898円**(442,066円)となります。

教育費	民生費	公債費	総務費	土木費
119,432円(83,954円)	112,789円(92,492円)	71,113円(71,324円)	54,913円(52,557円)	45,918円(42,205円)
衛生費	消防費	農林水産業費	商工費	その他
35,177円(37,624円)	21,213円(19,865円)	20,952円(20,309円)	11,968円(9,752円)	15,423円(11,984円)

平成23年3月1日現在の人口8,483人、()内は前年度の数値、平成22年3月1日現在の人口8,596人でそれぞれ計算